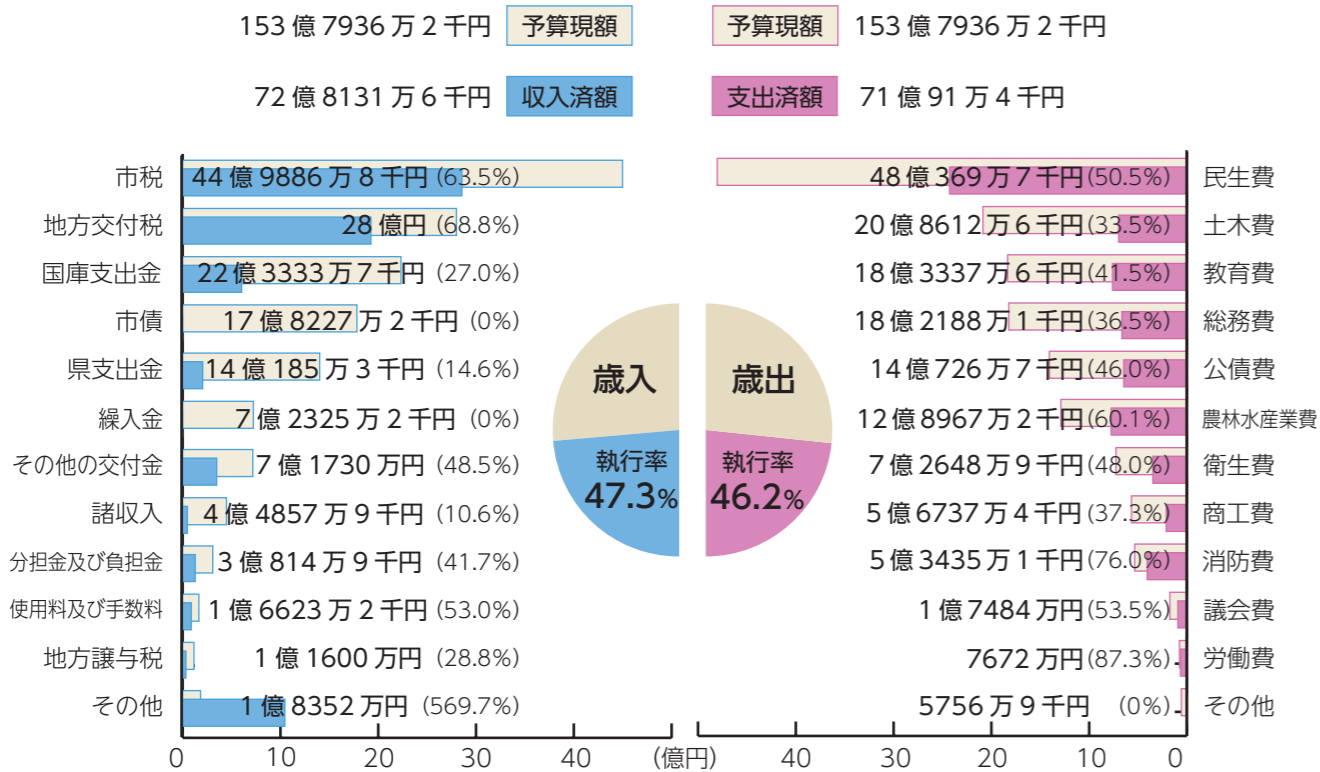


平成 28 年度上半期の 予算執行状況 をお知らせします

一般会計歳入歳出予算執行状況 (平成 28 年 9 月末現在)

グラフの数値は予算現額、() 内は執行率です。



* 予算現額には平成 27 年度からの繰り越し分を含んでいます。

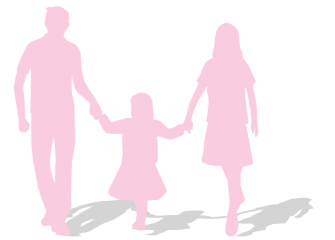
歳出を目的別 で見た決算額と 市民 1 人当たり の決算額

* () 内は 1 人当たりの決算額。平成 28 年 3 月 31 日現在の住民基本台帳人口 (2 万 8969 人) で計算しています。

民生費 45 億 1080 万 1 千円 (15 万 5711 円) 認定子ども園運営、障害者・高齢者福祉など	教育費 17 億 830 万円 (5 万 8970 円) 学校、公民館、体育施設の整備や維持管理など	土木費 16 億 7528 万 7 千円 (5 万 7830 円) 道路、橋、公園、市営住宅の整備や維持管理など
総務費 14 億 6292 万 6 千円 (5 万 500 円) 戸籍や住民票の管理、防犯対策、財産管理など	公債費 13 億 3601 万 8 千円 (4 万 6119 円) 市債 (借金) の返済	商工費 8 億 7780 万 3 千円 (3 万 302 円) 企業誘致、商工業の振興、観光推進など
農林水産業費 7 億 5812 万 9 千円 (2 万 6170 円) 農林水産業の振興や農道、排水施設の整備など	衛生費 7 億 5288 万 9 千円 (2 万 5989 円) ごみ処理、予防接種、妊婦・乳児健診など	消防費 5 億 7431 万 6 千円 (1 万 9825 円) 消防施設や災害対策など
議会費 1 億 9029 万 6 千円 (6569 円) 議会の運営	労働費 7504 万 5 千円 (2591 円) 雇用対策、市民への生活資金融資など	その他 4 億 5348 万 1 千円 (1 万 5654 円) 基金 (貯金) への積立金や災害復旧費など

目的別で見ると、民生費が全体の 3 分の 1 を占めています。これは認定子ども園運営や児童手当、医療・介護保険、生活保護など福祉事業の比重が大きいためです。

歳出決算額 (目的別)
 143 億 7529 万 1 千円
 市民 1 人当たりの決算総額
49 万 6230 円



冬の備えは 大丈夫ですか?



雪を克服して快適な冬に!

● 雪に備える週間 12 月 1 日~7 日 ●

- 気象情報などに十分注意し、大雪警報などが発表された場合にはなるべく外出を控えましょう。
- 路上駐車は除雪の妨げになりますので、絶対にやめましょう。
- 降積雪時におけるマイカーは控え、公共交通機関を利用しましょう。
- 降積雪時には必ずスノータイヤやチェーンを装着しましょう。
- 除排雪された道路への雪の投げ捨てはやめましょう。
- 車の上に積もった雪はしっかりと取り除いてから運転しましょう。
- 水道水を融雪に使わないようにしましょう。
- 一斉屋根雪おろしなど、地域ぐるみで除排雪をしましょう。
- 屋根雪おろし中の転落事故や小型除雪機械による事故に十分注意しましょう。
- 一人暮らし老人宅などの除排雪など、ボランティア活動に参加しましょう。
- 生活道路、歩道、バス停付近や防火水槽、用水路付近の除排雪に協力しましょう。
- 除雪作業の際には、防寒や水分補給に注意するなど、健康管理に気を付けましょう。
- 各家庭で耐寒用品を含めた非常持ち出し品を準備しましょう。



問合せ 建設課 ☎ 73-8031

あわら市の 健全化判断比率 と 資金不足比率

健全化判断比率

区分	早期健全化基準	財政再生基準	H 27
実質赤字比率	13.63%	20.00%	(赤字なし)
連結実質赤字比率	18.63%	30.00%	(赤字なし)
実質公債費比率	25.0%	35.0%	8.0%
将来負担比率	350.0%	(基準なし)	32.7%

* 早期健全化基準は、各市町村の財政規模に応じて異なり、表中の基準はあわら市において適用される基準です。

資金不足比率

会計名	経営健全化基準	H 27
産業団地整備事業特別会計	20.0%	(不足なし)

* 水道・工業用水道・公共下水道・農業集落排水事業会計についても資金不足は発生していません。

平成 27 年度決算に基づく各指標は次のとおりで、いずれの比率も基準以下となっており、実質公債費比率と将来負担比率については、数値が改善されています。産業団地整備事業特別会計については、年度中にすべての用地の売却が完了したことにより、資金不足が解消されました。

あわら市は **基準をクリア** しています

